

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【公表番号】特表2008-503050(P2008-503050A)
 【公表日】平成20年1月31日(2008.1.31)
 【年通号数】公開・登録公報2008-004
 【出願番号】特願2007-516413(P2007-516413)
 【国際特許分類】

H 0 5 B 6/12 (2006.01)

A 4 7 J 36/24 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 6/12 3 0 7

A 4 7 J 36/24

【手続補正書】
 【提出日】平成20年6月13日(2008.6.13)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

誘導原理により食品および飲料の温度を維持するためのデバイスであって、該デバイスは、以下：

保管のために平面の面積を減少させるために、丸められるか、曲げられるか、または折り畳まれ得る、薄い加温マット（10）であって、該加温マット上に食品および飲料用の誘導容器および他の型の容器が配置され得る、加温マット（10）、ならびに

電源（46）および該加温マット（10）への接続のためのエネルギー変換器（11）

を備え、ここで該エネルギー変換器（11）は、該電源からのエネルギーを誘導エネルギーに変換し、該加温マット（10）は、以下：

－耐熱性の非金属材料製のプレート（20）、
 －該エネルギー変換器（11）からの誘導エネルギーによって種々の磁場を生成するための、少なくとも1つの加温要素（22）、
 を備える、デバイス。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のデバイスであって、前記加温要素（22）が、前記プレート（20）に、鑄造されるか、溶融されるか、接着されるか、または他の方法では取り付けられる、デバイス。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載のデバイスであって、前記プレート（20）における前記耐熱性材料は、約 100℃の連続的温度および約 130℃の最大の一過性温度に耐え得る、デバイス。

【請求項 4】

請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載のデバイスであって、前記プレート（20）における前記材料が可撓性であり、該プレート（20）が保管のために丸められるか、曲げられるか、または折り畳まれることを可能にする、デバイス。

【請求項 5】

請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載のデバイスであって、保管のために前記加温マット（10）を折り畳むのを容易にするために、弱い部位（24a、24b）が前記プレート（20）に提供される、デバイス。

【請求項 6】

請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載のデバイスであって、前記加温要素（22）が、電導体（30）の形態の誘導コイルおよび前記エネルギー変換器（11）に接続された供給導体（32）を備える、デバイス。

【請求項 7】

請求項 1～6 のいずれか 1 項に記載のデバイスであって、前記加温マット（10）は、前記加温要素（22）の下に配置された、フェライトまたは別の金属材料の層（19）をさらに備える、デバイス。